

11
団体

総額

1,207万円の 助成決定

「自立した持続可能な地域社会創造助成事業(以下、地域社会創造助成事業)は、2013年度から一般財団法人新潟ろうきん福祉財団がスタートさせた助成事業です。

新潟県内における地域おこしや地域資源を活用したコミュニティビジネスの振興などを通じて地域の暮らしを支え、伝統文化を維持し、農地の管理や森林の保全を通して自然環境を守るなど、地域社会創造を推進する地域住民団体、農業法人等の企業、自営業、NPO等市民活動団体を資金面から支援することを目的としています。助成金額の上限は、200万円、最長3年間(3年間の上限助成金額500万円)の継続助成を受けることが可能な大型助成事業となっています。



「ふあいんど」による6次産業化を目指した作業の様子



「(一社)佐渡地域観光交流ネットワーク」による「さどんぼ」で体験できる地域力の積極的な発信事業の取り組み

2015年度地域社会創造助成事業への応募団体は32団体。選考委員による書類選考、面接選考を経て助成団体を決定しました(採用11団体、詳細は裏面)。助成団体には、「新潟県地域づくりコーディネーター養成講座」への参加特典(1団体につき2名まで受講料免除)も活用していただきながら、中山間漁村地域での地域おこし、仕事おこし等を支援していきます。

■選考委員

(五十音順・敬称略)

氏名	所属団体等
大滝 聡	(特非)まちづくり学校代表理事
金子 博	よりそいホットライン(いしがた事務局長)
○金子 洋二	(特非)新潟NPO協会代表理事
桑原 幸子	(一社)魚沼市観光協会事務局長
笹川 克年	新潟日報社 報道部
佐藤 春夫	新潟グリーンツーリズムセンター元所長
◎寺尾 仁	新潟大学准教授

◎=選考委員長 ○=副選考委員長

■実績累計

	応募団体	助成団体	助成金額
2013年度	37	10	1,444万円
2014年度	16	10	1,126.2万円
2015年度	32	11	1,207万円
総累計	85	31	3,777.2万円

(一財)新潟ろうきん福祉財団は、<新潟ろうきん>が創立30周年を記念して1983年に設立した財団です。

当財団の事業を通じて<新潟ろうきん>の社会的役割の発揮、社会貢献活動として広く県民の暮らしの向上と福祉の増進に役立つことを目的としています。自立した持続可能な地域社会創造事業の他、NPO等助成事業、地域福祉団体助成事業、大学生奨学金貸与事業、高校生奨学金給付事業、文化講演会等開催事業、にいがたワーク&ライフフォーラム・セミナー開催事業、調査・研究事業、ライブプランセミナー開催事業等に取り組んでいます。

助成団体一覧

団体名	所在地	助成額 (万円)	助成金使途
ふあいんど	見附市	200	[6次産業による地域福祉活性化事業](継続事業2年目) 休耕田を利用した農産物の乾燥や加工を行う。あるいは野山に野生の植物を採取し加工して販売する。その際に高齢者と障がい者のユニットを組み作業を行う。
一般社団法人 佐渡地域観光交流ネットワーク	佐渡市	160	[「さどんぼ」で体験できる地域力の積極的な発信事業](継続事業3年目) 「さどんぼ」各地域の街歩きやこれまで開発した「佐渡の地域が持つ宝」を体験できるプログラムを、パンフレットと併用し、ホームページ、スマートフォン等のメディアを活用して個人観光客に対して発信していく。発信力を強化することと併せて、受入体制を整備することで利用者の増加を図り、運営面で自立できるよう検討を行う。
一般社団法人 門出ふるさと村組合	柏崎市	144	[自然と寄り添う暮らし体験part2] ①今後の活動の中核となる人材の育成②山里の文化を伝える体験・交流プログラムの模索と円滑な運営を支える体制の整備③体験を積み上げる農村生活のフィールドとして「風呂棟」の第1期工事
特定非営利活動法人 里山クリーン新潟	阿賀野市	136	[村杉における6次産業化による地域づくり事業] 山菜、椎茸、柿等の乾燥、竹の子水煮、ワラビみず塩漬け、梅干し、梅ジュースの加工等、6次産業による地域おこしと事業に関わる高齢者、障がい者の働く環境を構築する。
縄縄う会	妙高市	125	[空き家を活用し、「縄縄い」による地域活性化事業] ①空き家を再生し、縄縄いの場をつくる。②伝統文化を継承する為講習会などを開催し、新たな担い手を発掘し育成する。③コミュニティビジネスを立ち上げるための基盤整備をする。④縄縄いで成功している先進地を視察する。
わかとち未来会議	小千谷市	112	[旧小学校の利用と持続可能になる物販事業の確立](継続事業3年目) 体験利用施設の集客のため、教室内(床および内装)の補修・整備を行う。本年6月に農作物の生産・販売を行う組織を立ち上げ、加工品の製造にも取り組み始めた。今年は試作品づくりから始め、商品化、首都圏での物販イベント他での販売に取り組む。商品のブランド力を高めるために、パッケージやラベルを外部に委託しながら、販売の強化を図る。また、加工品開発および販路開拓にあたり、専門家を招聘しアドバイスをもらう。
特定非営利活動法人 スノーパーク小出	魚沼市	84	[冬期間の活動をきっかけとした地域の健康づくりを支えるためのビジネスの創出] 中高年でも参加しやすいコミュニケーションを重視したスキー教室やサマーシーズンの里山を活用したウォーキングや自然観察会といった健康づくり活動を通じて、地域の方を中心とした講師の育成と多方面から参加できる受け入れ態勢を作ります。また、他地域から参加をしやすいするための看板作りや情報発信を行うことで、関わる方々への収入の増加、参加者同士の交流の拡大、自殺防止関連団体との協力関係を構築することで、地域で収入を得て、健康づくりでつながりを持続できる住みやすい地域活動の一つにしてまいります。
特定非営利活動法人 笹山縄文の里	十日町市	70	[笹山縄文による新たな時代づくり事業] 「笹山縄文」の魅力と可能性、縄文の精神と文化をパネル展開催や絵葉書、カレンダー製作などにより発信し、縄文連続講座等によりまず地元が笹山縄文を学び楽しむ取り組みとともに、絵はがきやカレンダーを媒体として人とのつながりを広げ、全国の縄文ネットワークや大学などとの交流事業を展開し、地域がいきいきと変わっていくところから持続可能で心豊かな時代づくりを目指していく。
岩沢アチコタネーゼ	小千谷市	78	[地域コミュニティビジネス活動事業] 経営軌道に乗りつつあるコミュニティ食堂「山紫」をさらに発展させるため、設備の整備を行う。上記の事業を含めた地域の観光マップの作成を学生と行う。
ものずき村	魚沼市	50	[複合的な効果で自律した「年寄りビジネス」の創造(第3の柱:笹の葉の活用とビジネス展開の構築)](継続事業3年目) 昔から魚沼地方に伝わる笹団子やちまきに使われていたがいつの間にか忘れさられ雑草のように扱われている「笹」を「ものずき村」の新しい柱として、直売所の補完的役割のそば部門と昨年の事業から育成中の新アクティビティのワラビ園部門に次ぐ第3の事業として展開し、複合的な効果を創造する。
結束集落	津南町	48	[「結束の水と空気」買いませんかプロジェクト(「結束の澄んだ水とおいしい空気」を体験、できない人は…)](継続事業3年目) 結束の取り組み紹介と名産品の売り込み、企業へ「結束の棚田、森、空と空気」を売り込む。具体的には結束の棚田と米、ワラビ、シイタケ、なめこなどを「結束の名産」として郷人会などを通して発信する。企業、団体単位で結束の棚田、森のスポンサーになってもらう方法を検討する。
合計(11団体)		1,207	